

### 第三回通常総代会開催

平成二十三年度第三回通常総代会が、去る五月二十日(金)十時三十分から、国民宿舎ボルベリアダグリで開催されました。

開催に当たり、河本商工会長は「昨年は宮崎県の口蹄疫、奄美の豪雨災害、新燃岳の爆発など異常気象による災害など県民生活に影響を及ぼしました。特に口蹄疫は、畜産農家はもとより工業者にも多大な影響を与え厳しい経済状況が続きました。さらに日本を震撼した東日本大震災の影響が懸念される中、当商工会におきましては、市当局のご支援を頂きプレミアム商品券発行事業や利子補給制度に取り組みと共に全国展開支援事業を継続実施し、「食と観光」をテーマにした背白ちりめん三味井を開発、S17グランプリではダブル受賞に輝き、きばれ商店街活力再生支援事業ではメガ井祭りを開催、志布志の特産品を広くPRするとともにその成果も醸成しつつあります。これも会員皆様のご協力により成し得た事業で順調に執行できました。

さて、昨今の商工会を取り巻く経営環境が厳しい中、当商工会では円滑な運営に向けて早急に解決していかなければならない諸問題を抱えています。本年度は、この課題に向け経営改善普及事業の更なる充実を図り、経営革新も含めて様々な経営支援を積極的に推進して参ります。また新たな市補助事業の商工業経済活力支援事業は地域資源活用の「食」の開発・普及、農商工連携及び商店街活性化等の事業を実施し、販路拡大や志布志ブランドの確立に向けた事業を行ない、景観事業の推進も図りながら商工業の総合的な発展に取り組んで参ります。商工会は、地域経済の要として今こそ地域の力を結集し景気浮揚に向けて事業活動を展開していく所存です。」と挨拶しました。

その後山田勝郎氏が議長となり、議事がおこなわれ、第一号議案の平成二十二年度事業報告・収支決算書等、第二号議案の平成二十三年度事業計画(案)・収支予算書(案)、第三号議案の借入限度額、第四号議案の志布志市商工会運営規約一部改正(案)承認の件が原案通り可決承認されました。第五号議案の役員補充選任については濱崎敏子氏(女性部長)が選任されました。